

平成 21 年度 事務事業事後評価調書 (平成 20 年度事業)

整理番号 4-2

1 事務事業の表示

※ ■ : 該当

事務事業名							雄武斎場火葬管理等業務委託事業						
評価者	担当課名		住民生活課		担当係名		環境衛生係						
	管理職	職名	課長		作成者	職名	係長						
		氏名	淡路 至尊			氏名	内藤 肇昭						
事業の概要					火葬認可に伴う、火葬業務の執行、斎場施設の維持管理及び墓地・墓苑内の草刈及び清掃といった周辺環境の維持を業務とし、平成10年度より民間業者に委託。		全体計画 / 単年度繰返 (平成 20 年度 ~ 24 年度) 事業費 国・道支出金 0 千円 地方債 0 千円 その他 0 千円 一般財源 6,630 千円 事業費計 6,630 千円						
実施方法		直営		■ 民間委託		その他 ()							
第5期総合計画(前期)			■ 登載事業		非登載事業		優先度		B				
事業の位置付け		政策目標		4 うるおい・雄武～生活環境・生活基盤の充実～									
		基本施策		15 環境の保全									
		単位施策		3 景観形成・環境美化・公害防止の推進									
		事務事業の種類		■ 自治事務		法定受託事務							
		その他計画・根拠等		雄武町火葬場の設置及び管理に関する条例									
事業費	実施年度		20年度(実績)	21年度(見込)	22年度(計画)	23年度(計画)	24年度(計画)						
	国・道支出金		0 千円	0 千円	0 千円	0 千円	0 千円						
	地方債		0 千円	0 千円	0 千円	0 千円	0 千円						
	その他財源		0 千円	0 千円	0 千円	0 千円	0 千円						
	雄武町負担額(一般財源)		1,310 千円	1,240 千円	1,330 千円	1,330 千円	1,330 千円						
	合計		1310 千円	1240 千円	1330 千円	1330 千円	1330 千円						

2 事務事業の目的・内容(Plan・Do)

【誰、何が(対象)】	墓地・墓苑・斎場利用者	望ましい指標(目的達成状況を最も端的に表す理論上の成果指標)			
【抱える課題やニーズは】	施設の老朽化等により、利用に支障をきたす恐れがある。	業務の適切な執行及び施設の適切な維持管理			
【どのような状態になることを目指したのか(意図)】	町民の斎場等の利用にすべからく応えるため、施設の適切な維持管理及び運営に努める。	指標(指標計算式/解説)		目標値及び実績値	
		①		目標年度	
				目標値	
				実績値	
				達成度	%
【その結果、どのような成果を実現したいか】 ※成果=目的	民間委託により、利用者へのサービスの向上と円滑なる業務が確保されるとともに、経費の削減を図るものとする。	②		目標年度	
				目標値	
				実績値	
				達成度	%
内容(どのような手段で何を行ったか)					
民間企業への業務委託	サービス向上と経費削減のため、民間企業に業務委託した。				

3 事務事業の評価(Check)

(1)事務事業の必要性(町民ニーズ・社会情勢に照らして妥当か、町が担う必要があるか。当該事務事業を実施しない場合の支障、既存事務事業との機能重複や見直しによる対応可能性)

必要 必要／概ね必要／課題あり	<input type="checkbox"/> 義務的なもの	公衆衛生上、必要な施設であり、火葬場の経営は墓地埋葬法上、永続性・非営利性が求められ、原則市町村がすべきとされている。 なお、業務の民間委託は経費の削減となります。
	<input type="checkbox"/> 全部 <input type="checkbox"/> 一部	

(2)事務事業の有効性(期待する効果が得られたか)

有効 有効／概ね有効／課題あり	設定した目標値の達成状況	適切な業務の執行及び事業費の抑制が行われている。
	<input checked="" type="checkbox"/> 達成 <input type="checkbox"/> ほぼ達成 <input type="checkbox"/> 下回る	

(3)事務事業の効率性(コストに見合った効果が得られたか、計画上のコストを下げる工夫をしたか)

効率的 効率的／概ね効率的／課題あり	判断の理由	民間委託により、人員及び事業費の抑制が行われている。
	<input checked="" type="checkbox"/> 事業費抑制 <input checked="" type="checkbox"/> 人員削減 <input type="checkbox"/> 時間短縮・作業軽減 <input type="checkbox"/> その他	

(4)事務事業の公平性

公平 公平／概ね公平／公平でない	判断の理由	火葬場は公衆衛生上、地域社会に必要な施設であり、受益者負担もあることから公平と判断する。
	<input checked="" type="checkbox"/> 受益者負担がある <input type="checkbox"/> 受益者負担がない <input type="checkbox"/> 受益が一部に偏る <input type="checkbox"/> その他	

4 総合評価【A～D】

- A: 計画通り事業が進んでいる。目標が達成された。今後も計画通り事業を進めることが適当 等
 B: ほぼ計画通りに進んでいるが目標に達成していない。事業の進め方に改善が必要 等
 C: 当初の計画を達成できていない。事業規模、内容、実施主体等の見直しが必要 等
 D: 事業効果が表れていない。事業の統合、休・廃止の検討が必要 等

自己評価(一次評価)	評価会議評価(二次評価)	町長評価(三次評価)
A		
火葬場は公衆衛生上、地域社会において、不可欠な施設であり、業務の民間委託は、事業費の抑制のため必要と考えることから、計画どおり事業を進めることが適当と判断する。		

今後の展開方向

(Action)

継続／現状維持		
委託先の火葬従事者においては、平成10年度の民間委託からの永年の従事経験による専門的知識を有し、利用者に対するサービスの向上、また、後継従事者の育成を含め複数人での従事体制も確立しつつあり、今後も現状維持が適当である。		

* 展開方向の区分

- 継続／現状維持又は拡充又は縮小又は統合又は内容の見直し・変更 終了 休止 廃止

5 その他特記事項 (アンケート調査など外部評価を受けた場合は、その旨記入)

--

平成 21 年度 事務事業事後評価調書 (平成 20 年度事業)

整理番号 4-3

1 事務事業の表示

※ ■ : 該当

事務事業名 雄武斎場火葬炉施設修繕事業						
評価者	担当課名		住民生活課	担当係名		環境衛生係
	管理職	職名	課長	作成者	職名	係長
		氏名	淡路 至尊		氏名	内藤 肇昭
事業の概要	雄武斎場 ・一号炉主燃焼室N煉瓦張替修繕 ・二号炉主燃焼室セラミック耐火物張替修繕				全体計画 / 単年度繰返 (平成 20 年度 ~ 24 年度)	
					国・道支出金	0 千円
					地方債	0 千円
					その他	0 千円
					一般財源	3,600 千円
				事業費計	3,600 千円	
実施方法	■ 直営		民間委託	その他 ()		
第 5 期 総合計画 (前期)		■ 登載事業		非登載事業	優先度	B
事業の位置付け	政策目標	4 うるおい・雄武～生活環境・生活基盤の充実～				
	基本施策	15 環境の保全				
	単位施策	3 景観形成・環境美化・公害防止の推進				
	事務事業の種類	■ 自治事務		法定受託事務		
	その他計画・根拠等	雄武町火葬場の設置及び管理に関する条例				
事業費	実施年度	20年度(実績)	21年度(見込)	22年度(計画)	23年度(計画)	24年度(計画)
	国・道支出金	0 千円	0 千円	0 千円	0 千円	0 千円
	地方債	0 千円	0 千円	0 千円	0 千円	0 千円
	その他財源	0 千円	0 千円	0 千円	0 千円	0 千円
	雄武町負担額 (一般財源)	1,785 千円	1,710 千円	0 千円	0 千円	0 千円
	合計	1785 千円	1710 千円	千円	千円	千円

2 事務事業の目的・内容(Plan・Do)

【誰、何が(対象)】	火葬場利用者	望ましい指標(目的達成状況を最も端的に表す理論上の成果指標)				
【抱える課題やニーズは】	修繕の遅れにより、施設の利用ができなくなるおそれがある。	施設の適正な維持管理				
【どのような状態になることを目指したのか(意図)】	利用者の利便性の向上及び安全かつ正確な業務の遂行。	①	指標(指標計算式/解説)			目標年度
						目標値
						実績値
						達成度 %
【その結果、どのような成果を実現したいか】 ※成果=目的	火葬業務の円滑なる執行。	②				目標年度
						目標値
						実績値
						達成度 %
内 容(どのような手段で何を行ったか)						
火葬炉施設の修繕	火葬炉の劣化等の早期発見により、適切な時期に修繕を行い、施設を正しく維持管理する。					

3 事務事業の評価(Check)

(1)事務事業の必要性(町民ニーズ・社会情勢に照らして妥当か、町が担う必要があるか。当該事務事業を実施しない場合の支障、既存事務事業との機能重複や見直しによる対応可能性)

必要 必要／概ね必要／ 課題あり	<input type="checkbox"/> 義務的なもの	火葬場は公衆衛生上、地域社会において、不可欠な施設であり、現在、町営斎場は1斎場で火葬炉は2基のため利用者の利便性を確保するため、適宜の修繕は必要である。
	<input type="checkbox"/> 全部 <input type="checkbox"/> 一部	

(2)事務事業の有効性(期待する効果が得られたか)

有効 有効／概ね有効／ 課題あり	設定した目標値の達成 状況	当該事業を実施したことにより、施設の適切な維持管理ができて いる。
	<input checked="" type="checkbox"/> 達成 <input type="checkbox"/> ほぼ達成 <input type="checkbox"/> 下回る	

(3)事務事業の効率性(コストに見合った効果が得られたか、計画上のコストを下げる工夫をしたか)

効率的 効率的／概ね効率的 ／課題あり	判断の理由	適切な時期の施設の修繕により、安全かつ正確な業務の遂行と利用者の利便性向上を図ることができる。
	<input type="checkbox"/> 事業費抑制 <input type="checkbox"/> 人員削減 <input type="checkbox"/> 時間短縮・作業軽減 <input checked="" type="checkbox"/> その他	

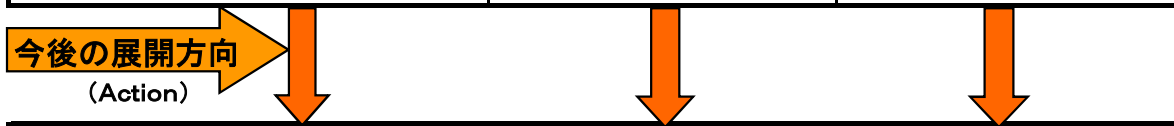
(4)事務事業の公平性

公平 公平／概ね公平／ 公平でない	判断の理由	火葬場は公衆衛生上、地域社会に必要な施設であり、利用対象者が全町民であることから公平と判断する。
	<input type="checkbox"/> 受益者負担がある <input type="checkbox"/> 受益者負担がない <input type="checkbox"/> 受益が一部に偏る <input checked="" type="checkbox"/> その他	

4 総合評価【A～D】

- A:計画通り事業が進んでいる。目標が達成された。今後も計画通り事業を進めることが適当 等
 B:ほぼ計画通りに進んでいるが目標に達成していない。事業の進め方に改善が必要 等
 C:当初の計画を達成できていない。事業規模、内容、実施主体等の見直しが必要 等
 D:事業効果が表れていない。事業の統合、休・廃止の検討が必要 等

自己評価(一次評価)	評価会議評価(二次評価)	町長評価(三次評価)
A 火葬場は公衆衛生上、地域社会において、不可欠な施設であり、適宜の修繕は利用者の利便性を確保するため、必要と判断する。		



継続／現状維持		
適切な時期の施設の修繕により、安全かつ正確な業務の遂行と利用者の利便性向上を図ることができるため、現状維持が適当である。		

*展開方向の区分

- 継続／現状維持又は拡充又は縮小又は統合又は内容の見直し・変更 終了 休止 廃止

5 その他特記事項 (アンケート調査など外部評価を受けた場合は、その旨記入)

--

平成 21 年度 事務事業事後評価調書 (平成 20 年度事業)

整理番号 4 - 4

1 事務事業の表示

※ ■ : 該当

事務事業名		一般廃棄物収集運搬業務委託事業				
評価者	担当課名	住民生活課		担当係名		環境衛生係
	管理職	職名	課長		作成者	係長
		氏名	淡路 至尊			氏名
事業の概要	町の定めた一般廃棄物処理基本計画に基づき、雄武町全域の家庭系ごみの収集運搬業務、紋別市リサイクルセンターへの資源ごみの搬入、処理施設の管理業務及び臨時的収集を業務内容とし、平成10年度より民間業者に委託。				全体計画 / 単年度繰返 (平成 20 年度 ~ 24 年度) 事業費 国・道支出金 0 千円 地方債 0 千円 その他 38,503 千円 一般財源 140,747 千円 事業費計 179,250 千円	
実施方法	直営	■ 民間委託		その他 ()		
第 5 期 総合計画 (前期)		■ 登載事業		非登載事業	優先度	A
事業の位置付け	政策目標	4 うるおい・雄武～生活環境・生活基盤の充実～				
	基本施策	15 環境の保全				
	単位施策	4 ごみ・し尿処理の推進				
	事務事業の種類	■ 自治事務		法定受託事務		
	その他計画・根拠等	一般廃棄物処理基本計画・廃棄物処理法				
事業費	実施年度	20年度(実績)	21年度(見込)	22年度(計画)	23年度(計画)	24年度(計画)
	国・道支出金	0 千円	0 千円	0 千円	0 千円	0 千円
	地方債	0 千円	0 千円	0 千円	0 千円	0 千円
	その他財源	7,703 千円	7,211 千円	7,700 千円	7,700 千円	7,700 千円
	雄武町負担額 (一般財源)	28,147 千円	28,232 千円	28,150 千円	28,150 千円	28,150 千円
	合計	35850 千円	35443 千円	35850 千円	35850 千円	35850 千円

2 事務事業の目的・内容(Plan・Do)

【誰、何が(対象)】	町民が排出するごみ	望ましい指標(目的達成状況を最も端的に表す理論上の成果指標)				
【抱える課題やニーズは】	各家庭から出されるごみの適正な収集運搬・処理及びコスト削減。	適切なごみの収集・処理及び施設の管理維持				
【どのような状態になることを目指したのか(意図)】	町内の環境・公衆衛生維持のため、迅速かつ効率的な収集及びコスト削減。	①	指標(指標計算式/解説)			目標値及び実績値
			目標年度			
			目標値			
			実績値			
			達成度	%		
【その結果、どのような成果を実現したいか】 ※成果=目的	住民サービスの向上。	②	指標(指標計算式/解説)			目標値及び実績値
			目標年度			
			目標値			
			実績値			
			達成度	#VALUE! %		
内 容(どのような手段で何を行ったか)						
民間業者への業務委託	住民サービスの向上と経費削減のため、民間企業に業務委託した。					

3 事務事業の評価(Check)

(1)事務事業の必要性(町民ニーズ・社会情勢に照らして妥当か、町が担う必要があるか。当該事務事業を実施しない場合の支障、既存事務事業との機能重複や見直しによる対応可能性)

必要 必要／概ね必要／ 課題あり	<input type="checkbox"/> 義務的なもの	現行法(廃掃法)上、一般廃棄物の処理は市町村の自治事務とされており、市町村以外のものに委託しても事業実施の主体はあくまでも市町村である。
	<input type="checkbox"/> 全部 <input type="checkbox"/> 一部	

(2)事務事業の有効性(期待する効果が得られたか)

有効 有効／概ね有効／ 課題あり	設定した目標値の達成状況	収集に係る町民よりの苦情はなく、スムーズに業務が遂行されていると判断されるし、直営に比べ経費の圧縮につながっている。
	<input checked="" type="checkbox"/> 達成 <input type="checkbox"/> ほぼ達成 <input type="checkbox"/> 下回る	

(3)事務事業の効率性(コストに見合った効果が得られたか、計画上のコストを下げる工夫をしたか)

効率的 効率的／概ね効率的／ 課題あり	判断の理由	委託費の算定は、人件費は道労務単価を使用し、燃料費は町への納入単価を使用する等、経費節減に努めている。
	<input checked="" type="checkbox"/> 事業費抑制 <input type="checkbox"/> 人員削減 <input type="checkbox"/> 時間短縮・作業軽減 <input type="checkbox"/> その他	

(4)事務事業の公平性

公平 公平／概ね公平／ 公平でない	判断の理由	町内全域が収集区域であり、全町民がサービスを受取るため公平である。
	<input checked="" type="checkbox"/> 受益者負担がある <input type="checkbox"/> 受益者負担がない <input type="checkbox"/> 受益が一部に偏る <input checked="" type="checkbox"/> その他	

4 総合評価【A～D】

- A:計画通り事業が進んでいる。目標が達成された。今後も計画通り事業を進めることが適当 等
 B:ほぼ計画通りに進んでいるが目標に達成していない。事業の進め方に改善が必要 等
 C:当初の計画を達成できていない。事業規模、内容、実施主体等の見直しが必要 等
 D:事業効果が表れていない。事業の統合、休・廃止の検討が必要 等

自己評価(一次評価)	評価会議評価(二次評価)	町長評価(三次評価)
A 一般家庭から排出される、ごみの迅速かつ的確な収集による住民サービスの向上及びコストの削減を図るため、計画どおり事業を進めることが適当と判断する。		

今後の展開方向
(Action)

継続／拡充		
祝日はごみの収集等を実施していなかったが、平成21年度から祝日に関係なく、月曜日から金曜日までごみの収集・処理を実施する。(元日は除く)		

*展開方向の区分

- 継続／現状維持又は拡充又は縮小又は統合又は内容の見直し・変更 終了 休止 廃止

5 その他特記事項(アンケート調査など外部評価を受けた場合は、その旨記入)

--

平成 21 年度 事務事業事後評価調書 (平成 20 年度事業)

整理番号 4 - 5

1 事務事業の表示

※ ■ : 該当

事務事業名	西紋ブロック広域資源ごみ処理事業					
評価者	担当課名		住民生活課	担当係名		環境衛生係
	管理職	職名	課長	作成者	職名	係長
		氏名	淡路 至尊		氏名	内藤 肇昭
事業の概要	容器包装リサイクル法に基づく資源廃棄物のうち、有償売却となっていないビン・プラスチックごみを紋別市のリサイクルセンターに搬入し処理しており、これに係る施設運営・維持管理費を搬入市町村の人口割で負担している。				全体計画 / 単年度繰返 (平成 20 年度 ~ 24 年度) 事業費 国・道支出金 0 千円 地方債 0 千円 その他 12,000 千円 一般財源 18,959 千円 事業費計 30,959 千円	
実施方法	直営		民間委託	■ その他 (紋別市と協定締結)		
第 5 期 総合計画 (前期)			■ 登載事業	非登載事業	優先度	A
事業の位置付け	政策目標	4 うるおい・雄武～生活環境・生活基盤の充実～				
	基本施策	15 環境の保全				
	単位施策	4 ごみ・し尿処理の推進				
	事務事業の種類	■ 自治事務		法定受託事務		
	その他計画・根拠等	一般廃棄物処理基本計画・容器包装リサイクル法				
事業費	実施年度	20年度(実績)	21年度(見込)	22年度(計画)	23年度(計画)	24年度(計画)
	国・道支出金	0 千円	0 千円	0 千円	0 千円	0 千円
	地方債	0 千円	0 千円	0 千円	0 千円	0 千円
	その他財源	2,519 千円	1,526 千円	2,400 千円	2,400 千円	2,400 千円
	雄武町負担額 (一般財源)	3,320 千円	4,731 千円	3,800 千円	3,800 千円	3,800 千円
	合計	5839 千円	6257 千円	6200 千円	6200 千円	6200 千円

2 事務事業の目的・内容(Plan・Do)

【誰、何が(対象)】	町民が排出する資源ごみ	望ましい指標(目的達成状況を最も端的に表す理論上の成果指標)				
【抱える課題やニーズは】	的確な資源ごみの分別・収集	資源ごみの適正処理率100%				
【どのような状態になることを目指したのか(意図)】	ごみの減量化、リサイクル率の向上	① 資源ごみの重量÷リサイクル処理重量 / 適正処理率(%)	指標(指標計算式/解説)			目標年度 平成24年度
						目標値 100
						実績値 100
						達成度 100.0 %
【その結果、どのような成果を実現したいか】 ※成果=目的	容器包装リサイクル法に基づく、資源ごみの適切な収集及び処理。	②	目標年度			
						目標値
						実績値
						達成度 #VALUE! %
内 容(どのような手段で何を行ったか)						
紋別市リサイクルセンター施設運営・維持管理費の	単独では、容器包装リサイクル法に基づく、資源ごみの適切な処理が困難なため、紋別市と協定を締結のうえ、紋別市のリサイクルセンターに搬入し適切に処理をしている。					

3 事務事業の評価(Check)

(1)事務事業の必要性(町民ニーズ・社会情勢に照らして妥当か、町が担う必要があるか。当該事務事業を実施しない場合の支障、既存事務事業との機能重複や見直しによる対応可能性)

必要	<input type="checkbox"/> 義務的なもの	資源ごみの適切な処理のため、単独で処理ができない現状では負担金支出により処理すべきである。
	<input type="checkbox"/> 全部 <input type="checkbox"/> 一部	
必要／概ね必要／課題あり		

(2)事務事業の有効性(期待する効果が得られたか)

有効	設定した目標値の達成状況	一般家庭・事業所から排出される資源ごみについては、全て適正に処理している。
	<input checked="" type="checkbox"/> 達成 <input type="checkbox"/> ほぼ達成 <input type="checkbox"/> 下回る	
有効／概ね有効／課題あり		

(3)事務事業の効率性(コストに見合った効果が得られたか、計画上のコストを下げる工夫をしたか)

概ね効率的	判断の理由	資源ごみについては、適切に処理されているが各市町村の負担方式(人口割り)については見直しが必要。
	<input type="checkbox"/> 事業費抑制 <input type="checkbox"/> 人員削減 <input type="checkbox"/> 時間短縮・作業軽減 <input checked="" type="checkbox"/> その他	
効率的／概ね効率的／課題あり		

(4)事務事業の公平性

公平	判断の理由	資源ごみの収集・処理については町内全域が対象となり、家庭系・事業系の処理手数料を財源充当していることから公平である。
	<input checked="" type="checkbox"/> 受益者負担がある <input type="checkbox"/> 受益者負担がない <input type="checkbox"/> 受益が一部に偏る <input type="checkbox"/> その他	
公平／概ね公平／公平でない		

4 総合評価【A～D】

- A:計画通り事業が進んでいる。目標が達成された。今後も計画通り事業を進めることが適当 等
 B:ほぼ計画通りに進んでいるが目標に達成していない。事業の進め方に改善が必要 等
 C:当初の計画を達成できていない。事業規模、内容、実施主体等の見直しが必要 等
 D:事業効果が表れていない。事業の統合、休・廃止の検討が必要 等

自己評価(一次評価)	評価会議評価(二次評価)	町長評価(三次評価)
A	A	
資源ごみの一部は、有償売却により資源化回収業者に引き渡しているものの、引き取りされない物については、単独での処理が困難であるため、計画どおり事業を進めることが適当と		

今後の展開方向
(Action)

継続／現状維持	継続／現状維持	
資源廃棄物のうち、有償売却となっていない物の処理について現状維持が適当である。	指標の再設定について要検討。	

*展開方向の区分

- 継続／現状維持又は拡充又は縮小又は統合又は内容の見直し・変更 ○ 終了 ○ 休止 ○ 廃止

5 その他特記事項 (アンケート調査など外部評価を受けた場合は、その旨記入)

--

平成 21 年度 事務事業事後評価調書 (平成 20 年度事業)

整理番号 4 - 6

1 事務事業の表示

※ ■ : 該当

事務事業名		リサイクル推進事業					
評価者	担当課名	住民生活課		担当係名	環境衛生係		
	管理職	職名	課長		作成者	係長	
		氏名	淡路 至尊			氏名	内藤 肇昭
事業の概要	・ごみ指定袋(収入証紙付)の作成 ・売捌き手数料の支出				全体計画 / 単年度繰返 (平成 20 年度 ~ 24 年度)		
					事業費		
					国・道支出金	0 千円	
					地方債	0 千円	
					その他	19,081 千円	
					一般財源	17,619 千円	
					事業費計	36,700 千円	
実施方法	■ 直営		民間委託	その他 ()			
第 5 期 総合計画 (前期)		■ 登載事業		非登載事業	優先度	A	
事業の位置付け	政策目標	4 うるおい・雄武～生活環境・生活基盤の充実～					
	基本施策	15 環境の保全					
	単位施策	4 ごみ・し尿処理の推進					
	事務事業の種類	■ 自治事務		法定受託事務			
	その他計画・根拠等	一般廃棄物処理基本計画・廃棄物処理法					
事業費	実施年度	20年度(実績)	21年度(見込)	22年度(計画)	23年度(計画)	24年度(計画)	
	国・道支出金	0 千円	0 千円	0 千円	0 千円	0 千円	
	地方債	0 千円	0 千円	0 千円	0 千円	0 千円	
	その他財源	1,050 千円	2,322 千円	4,000 千円	4,000 千円	4,000 千円	
	雄武町負担額 (一般財源)	1,062 千円	3,010 千円	3,700 千円	3,700 千円	3,700 千円	
	合計	2112 千円	5332 千円	7700 千円	7700 千円	7700 千円	

2 事務事業の目的・内容(Plan・Do)

【誰、何が(対象)】	町民(一般家庭ごみ)	望ましい指標(目的達成状況を最も端的に表す理論上の成果指標)				
【抱える課題やニーズは】	最終処分場の延命化	1人1日当たりの排出ごみ745g、リサイクル率32.8%				
【どのような状態になることを目指したのか(意図)】	ごみの減量化、費用負担の公平化	① 年間総収集量 ÷ 365 ÷ 収集人口 / 1人1日当たりの排出ごみ(g)	指標(指標計算式/解説)			目標年度 平成24年度
						目標値 745
						実績値 801
						達成度 107.5 %
【その結果、どのような成果を実現したいか】 ※成果=目的	新たな経費負担(廃棄物最終処分場の建設)が回避できる。	② 資源ごみの重量 ÷ 総廃棄物の重量 / リサイクル率(%)	指標(指標計算式/解説)			目標年度 平成24年度
						目標値 32.8
						実績値 25.2
						達成度 76.829268 %
内 容(どのような手段で何を行ったか)						
ごみ指定袋の有料化	指定袋の有料化により、町民のごみの減量化意識の定着、資源ごみのリサイクル化を行った。					

3 事務事業の評価(Check)

(1)事務事業の必要性(町民ニーズ・社会情勢に照らして妥当か、町が担う必要があるか。当該事務事業を実施しない場合の支障、既存事務事業との機能重複や見直しによる対応可能性)

必要 必要／概ね必要／ 課題あり	<input type="checkbox"/> 義務的なもの	指定袋による有料化が住民に浸透し、ごみの減量化が図られており、最終処分場の延命化により、新たな経費負担が回避できる。
	<input type="checkbox"/> 全部 <input type="checkbox"/> 一部	

(2)事務事業の有効性(期待する効果が得られたか)

有効 有効／概ね有効／ 課題あり	設定した目標値の達成 状況	指標の目標値に近づいており、指定袋による有料化が住民に浸透し、ごみの減量化、リサイクル化が進んでいる。
	<input type="checkbox"/> 達成 <input checked="" type="checkbox"/> ほぼ達成 <input type="checkbox"/> 下回る	

(3)事務事業の効率性(コストに見合った効果が得られたか、計画上のコストを下げる工夫をしたか)

効率的 効率的／概ね効率的／ 課題あり	判断の理由	指定袋による有料化が住民に浸透し、ごみの減量化・リサイクル化が図られており、手数料は廃棄物処理財源に充てるなどコストに見合った効果が得られている。
	<input type="checkbox"/> 事業費抑制 <input type="checkbox"/> 人員削減 <input type="checkbox"/> 時間短縮・作業軽減 <input checked="" type="checkbox"/> その他	

(4)事務事業の公平性

公平 公平／概ね公平／ 公平でない	判断の理由	指定袋による有料化により、費用負担の公平化がなされていると判断する。
	<input checked="" type="checkbox"/> 受益者負担がある <input type="checkbox"/> 受益者負担がない <input type="checkbox"/> 受益が一部に偏る <input type="checkbox"/> その他	

4 総合評価【A～D】

- A:計画通り事業が進んでいる。目標が達成された。今後も計画通り事業を進めることが適当 等
 B:ほぼ計画通りに進んでいるが目標に達成していない。事業の進め方に改善が必要 等
 C:当初の計画を達成できていない。事業規模、内容、実施主体等の見直しが必要 等
 D:事業効果が表れていない。事業の統合、休・廃止の検討が必要 等

自己評価(一次評価)	評価会議評価(二次評価)	町長評価(三次評価)
A	A	
最終処分場の延命化を図り、新たな経費負担の回避のため、今後もごみの減量化、資源ごみの分別が必要であり、計画どおり事業を進めることが適正と判断する。		

今後の展開方向
(Action)

継続／現状維持	継続／現状維持	
今後も指定袋を活用したごみ収集を通して、ごみの減量化、リサイクル啓発を行うため、継続実施が必要な事業と判断する。		

*展開方向の区分

- 継続／現状維持又は拡充又は縮小又は統合又は内容の見直し・変更 ○ 終了 ○ 休止 ○ 廃止

5 その他特記事項 (アンケート調査など外部評価を受けた場合は、その旨記入)

--

平成 21 年度 事務事業事後評価調書 (平成 20 年度事業)

整理番号 4 - 7

1 事務事業の表示

※ ■ : 該当

事務事業名		廃木材等処理事業					
評価者	担当課名	住民生活課		担当係名	環境衛生係		
	管理職	職名	課長		職名	係長	
		氏名	淡路 至尊		作成者	氏名	内藤 肇昭
事業の概要	廃木材については、形成物のまま埋立処理するには、容量が多すぎるため、最終処分場の延命化を図る方策として破砕処理施設を有する雄武クリーンセンターに処理委託する。				全体計画 / 単年度繰返 (平成 20 年度 ~ 24 年度) 事業費 国・道支出金 0 千円 地方債 0 千円 その他 1,800 千円 一般財源 0 千円 事業費計 1,800 千円		
実施方法	直営	■ 民間委託		その他 ()			
第 5 期 総合計画 (前期)		■ 登載事業		非登載事業	優先度	B	
事業の位置付け	政策目標	4 うるおい・雄武～生活環境・生活基盤の充実～					
	基本施策	15 環境の保全					
	単位施策	4 ごみ・し尿処理の推進					
	事務事業の種類	■ 自治事務		法定受託事務			
	その他計画・根拠等						
事業費	実施年度	20年度(実績)	21年度(見込)	22年度(計画)	23年度(計画)	24年度(計画)	
	国・道支出金	0 千円	0 千円	0 千円	0 千円	0 千円	
	地方債	0 千円	0 千円	0 千円	0 千円	0 千円	
	その他財源	360 千円	360 千円	360 千円	360 千円	360 千円	
	雄武町負担額 (一般財源)	0 千円	0 千円	0 千円	0 千円	0 千円	
	合計	360 千円	360 千円	360 千円	360 千円	360 千円	

2 事務事業の目的・内容(Plan・Do)

【誰、何が(対象)】	町民から排出される廃木材	望ましい指標(目的達成状況を最も端的に表す理論上の成果指標)				
【抱える課題やニーズは】	最終処分場の延命化	廃木材の埋め立て回避				
【どのような状態になることを目指したのか(意図)】	廃木材の埋め立て回避	① 最終処分場への廃木材の搬入量(t)	指標(指標計算式/解説)			目標年度 平成20年度
			目標年度	目標値	実績値	0
			実績値	0	達成度	#DIV/0! %
			達成度	#DIV/0! %		
【その結果、どのような成果を実現したいか】 ※成果=目的	新たな経費負担(廃棄物処分場の建設)が回避できる。	②	目標年度	目標値		
			実績値			
			達成度	%		
内 容(どのような手段で何を行ったか)						
廃木材処理委託	廃木材の処理を委託することにより、最終処分場への埋め立てを回避。					

3 事務事業の評価(Check)

(1)事務事業の必要性(町民ニーズ・社会情勢に照らして妥当か、町が担う必要があるか。当該事務事業を実施しない場合の支障、既存事務事業との機能重複や見直しによる対応可能性)

必要 必要／概ね必要／ 課題あり	<input type="checkbox"/> 義務的なもの	事業の原資は、ごみ処理手数料であり、最終処分場の延命化のため必要である。
	<input type="checkbox"/> 全部 <input type="checkbox"/> 一部	

(2)事務事業の有効性(期待する効果が得られたか)

有効 有効／概ね有効／ 課題あり	設定した目標値の達成 状況	廃木材の最終処分場への埋め立てを回避している。
	<input checked="" type="checkbox"/> 達成 <input type="checkbox"/> ほぼ達成 <input type="checkbox"/> 下回る	

(3)事務事業の効率性(コストに見合った効果が得られたか、計画上のコストを下げる工夫をしたか)

効率的 効率的／概ね効率的／ 課題あり	判断の理由	廃木材の処理委託料は、本町の事業系ごみ処理料金と同額程度であり、コストに見合った効果が得られている。
	<input type="checkbox"/> 事業費抑制 <input type="checkbox"/> 人員削減 <input type="checkbox"/> 時間短縮・作業軽減 <input checked="" type="checkbox"/> その他	

(4)事務事業の公平性

公平 公平／概ね公平／ 公平でない	判断の理由	排出量に対して応分の手数料を負担する観点から公平である。
	<input checked="" type="checkbox"/> 受益者負担がある <input type="checkbox"/> 受益者負担がない <input type="checkbox"/> 受益が一部に偏る <input type="checkbox"/> その他	

4 総合評価【A～D】

- A:計画通り事業が進んでいる。目標が達成された。今後も計画通り事業を進めることが適当 等
 B:ほぼ計画通りに進んでいるが目標に達成していない。事業の進め方に改善が必要 等
 C:当初の計画を達成できていない。事業規模、内容、実施主体等の見直しが必要 等
 D:事業効果が表れていない。事業の統合、休・廃止の検討が必要 等

自己評価(一次評価)	評価会議評価(二次評価)	町長評価(三次評価)
A 本事業は、焼却休止によりごみ全量を最終処分場へ埋め立て処理している中、1年でも長い延命化を図るための有効な手段であり、計画通り事業を進めることが適当と判断する。		

今後の展開方向
(Action)

継続／現状維持		
廃木材については、形成物のまま埋立処理するには、容量が多すぎるため、最終処分場の延命化を図る方策として、現状維持が適当である。		

*展開方向の区分

- 継続／現状維持又は拡充又は縮小又は統合又は内容の見直し・変更 終了 休止 廃止

5 その他特記事項 (アンケート調査など外部評価を受けた場合は、その旨記入)

--

平成 21 年度 事務事業事後評価調書 (平成 20 年度事業)

整理番号 4 - 8

1 事務事業の表示

※ ■ : 該当

事務事業名	西紋別地区環境衛生施設運営事業					
評価者	担当課名	住民生活課		担当係名	環境衛生係	
	管理職	職名	課長	作成者	職名	
		氏名	淡路 至尊		氏名	内藤 肇昭
事業の概要	町単独での処理が困難な、し尿処理を広域的(西紋別地区)に実施し、各市町村(5市町村)が応分の組合運営分担金を支出する。			全体計画 / 単年度繰返 (平成 20 年度 ~ 24 年度)		
事業費	国・道支出金				0 千円	
	地方債				0 千円	
	その他				0 千円	
	一般財源				148,074 千円	
	事業費計				148,074 千円	
実施方法	直営	民間委託	■ その他 (一部事務組合)			
第5期総合計画(前期)	■ 登載事業	非登載事業	優先度	A		
事業の位置付け	政策目標	4 うるおい・雄武～生活環境・生活基盤の充実～				
	基本施策	15 環境の保全				
	単位施策	4 ごみ・し尿処理の推進				
	事務事業の種類	■ 自治事務	法定受託事務			
	その他計画・根拠等	一般廃棄物処理基本計画・廃棄物処理法				
事業費	実施年度	20年度(実績)	21年度(見込)	22年度(計画)	23年度(計画)	24年度(計画)
	国・道支出金	0 千円	0 千円	0 千円	0 千円	0 千円
	地方債	0 千円	0 千円	0 千円	0 千円	0 千円
	その他財源	0 千円	0 千円	0 千円	0 千円	0 千円
	雄武町負担額(一般財源)	30,074 千円	29,824 千円	29,500 千円	29,500 千円	29,500 千円
	合計	30074 千円	29824 千円	29500 千円	29500 千円	29500 千円

2 事務事業の目的・内容(Plan・Do)

【誰、何が(対象)】	町内で発生するし尿。	望ましい指標(目的達成状況を最も端的に表す理論上の成果指標)			
【抱える課題やニーズは】	町内で発生するし尿の適正処理。	施設の安定運営			
【どのような状態になることを目指したのか(意図)】	分担金支出による施設の安定運営。	①	指標(指標計算式/解説)	目標値及び実績値	
				目標年度	
				目標値	
				実績値	
				達成度	%
【その結果、どのような成果を実現したいか】 ※成果=目的	施設の運営維持・し尿の継続処理	②		目標年度	
				目標値	
				実績値	
				達成度	%
			内容(どのような手段で何を行ったか)		
組合運営分担金の支出	一部事務組合にて広域し尿処理を行っており、応分の組合運営分担金を支出。				

3 事務事業の評価(Check)

(1)事務事業の必要性(町民ニーズ・社会情勢に照らして妥当か、町が担う必要があるか。当該事務事業を実施しない場合の支障、既存事務事業との機能重複や見直しによる対応可能性)

必要 必要／概ね必要／ 課題あり	<input type="checkbox"/> 義務的なもの	町単独のし尿処理は困難なため、一部事務組合の広域的な処理は必要である。
	<input type="checkbox"/> 全部 <input type="checkbox"/> 一部	

(2)事務事業の有効性(期待する効果が得られたか)

有効 有効／概ね有効／ 課題あり	設定した目標値の達成 状況	町内で発生するし尿は、すべて適切に処理されている。
	<input checked="" type="checkbox"/> 達成 <input type="checkbox"/> ほぼ達成 <input type="checkbox"/> 下回る	

(3)事務事業の効率性(コストに見合った効果が得られたか、計画上のコストを下げる工夫をしたか)

効率的 効率的／概ね効率的／ 課題あり	判断の理由	町単独で行なうより、広域的に処理することにより、コストの削減が図られている。
	<input checked="" type="checkbox"/> 事業費抑制 <input checked="" type="checkbox"/> 人員削減 <input type="checkbox"/> 時間短縮・作業軽減 <input type="checkbox"/> その他	

(4)事務事業の公平性

公平 公平／概ね公平／ 公平でない	判断の理由	し尿の適正な処理は、全ての町民の快適で清潔な生活環境を守るものであり、公平と判断する。
	<input type="checkbox"/> 受益者負担がある <input type="checkbox"/> 受益者負担がない <input type="checkbox"/> 受益が一部に偏る <input checked="" type="checkbox"/> その他	

4 総合評価【A～D】

- A:計画通り事業が進んでいる。目標が達成された。今後も計画通り事業を進めることが適当 等
 B:ほぼ計画通りに進んでいるが目標に達成していない。事業の進め方に改善が必要 等
 C:当初の計画を達成できていない。事業規模、内容、実施主体等の見直しが必要 等
 D:事業効果が表れていない。事業の統合、休・廃止の検討が必要 等

自己評価(一次評価)	評価会議評価(二次評価)	町長評価(三次評価)
A	A	
町内で発生する、し尿の適正処理は必要であり、町単独での処理が困難なことから、計画通り事業を進めることが適当と判断する。		

今後の展開方向 (Action)		
継続／現状維持 町単独での処理が困難な、し尿処理を広域的に実施することは、町民の快適で清潔な生活環境を創造するため、現状維持が適当である。	継続／現状維持 分担金の算定根拠について、構成市町村間にて要協議。	
*展開方向の区分 <input type="checkbox"/> 継続／現状維持又は拡充又は縮小又は統合又は内容の見直し・変更 <input type="checkbox"/> 終了 <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 廃止		

5 その他特記事項 (アンケート調査など外部評価を受けた場合は、その旨記入)

--

平成 21 年度 事務事業事後評価調書（平成 20 年度事業）

整理番号 4 - 9

1 事務事業の表示

※ ■ : 該当

事務事業名		浄化槽整備事業					
評価者	担当課名	住民生活課		担当係名	環境衛生係		
	管理職	職名	課長		作成者	係長	
		氏名	淡路 至尊			氏名	内藤 肇昭
事業の概要	公共下水道処理区域外の生活廃水処理を充実させるため、浄化槽整備事業を実施する事前住民アンケート調査。				全体計画 / 単年度のみ (平成 20 年度～ 年度) 事業費 国・道支出金 0 千円 地方債 0 千円 その他 0 千円 一般財源 0 千円 事業費計 千円		
実施方法	■ 直営		民間委託	その他 ()			
第 5 期 総合計画 (前期)		■ 登載事業		非登載事業	優先度	C	
事業の位置付け	政策目標	4 うるおい・雄武～生活環境・生活基盤の充実～					
	基本施策	15 環境の保全					
	単位施策	4 ごみ・し尿処理の推進					
	事務事業の種類	■ 自治事務		法定受託事務			
	その他計画・根拠等	一般廃棄物処理基本計画・水質汚濁防止法、浄化槽法					
事業費	実施年度	20年度(実績)	21年度(見込)	22年度(計画)	23年度(計画)	24年度(計画)	
	国・道支出金	0 千円	0 千円	0 千円	0 千円	0 千円	
	地方債	0 千円	0 千円	0 千円	0 千円	0 千円	
	その他財源	0 千円	0 千円	0 千円	0 千円	0 千円	
	雄武町負担額 (一般財源)	0 千円	0 千円	0 千円	0 千円	0 千円	
	合計	千円	千円	千円	千円	千円	

2 事務事業の目的・内容(Plan・Do)

【誰、何が(対象)】	下水道区域外全戸	望ましい指標(目的達成状況を最も端的に表す理論上の成果指標)				
【抱える課題やニーズは】	生活雑排水未処理放流による公共水域への環境負荷	生活排水処理率100%				
【どのような状態になることを目指したのか(意図)】	生活排水処理の充実	①	指標(指標計算式/解説)			目標年度
						目標値
						実績値
						達成度
						%
【その結果、どのような成果を実現したいか】 ※成果=目的	下水道整備との連携で生活排水処理率を向上させる。	②	指標(指標計算式/解説)			目標年度
						目標値
						実績値
						達成度
						%
内 容(どのような手段で何を行ったか)						
	建設水道課において、公共下水道処理区域外地区の生活排水処理に係る事業が進行しているため未実施。					

3 事務事業の評価(Check)

(1)事務事業の必要性(町民ニーズ・社会情勢に照らして妥当か、町が担う必要があるか。当該事務事業を実施しない場合の支障、既存事務事業との機能重複や見直しによる対応可能性)

	<input type="checkbox"/> 義務的なもの	
必要／概ね必要／課題あり	<input type="checkbox"/> 全部 <input type="checkbox"/> 一部	

(2)事務事業の有効性(期待する効果が得られたか)

	設定した目標値の達成状況	
有効／概ね有効／課題あり	<input type="checkbox"/> 達成 <input type="checkbox"/> ほぼ達成 <input type="checkbox"/> 下回る	

(3)事務事業の効率性(コストに見合った効果が得られたか、計画上のコストを下げる工夫をしたか)

	判断の理由	
効率的／概ね効率的／課題あり	<input type="checkbox"/> 事業費抑制 <input type="checkbox"/> 人員削減 <input type="checkbox"/> 時間短縮・作業軽減 <input type="checkbox"/> その他	

(4)事務事業の公平性

	判断の理由	
公平／概ね公平／公平でない	<input type="checkbox"/> 受益者負担がある <input type="checkbox"/> 受益者負担がない <input type="checkbox"/> 受益が一部に偏る <input type="checkbox"/> その他	

4 総合評価【A～D】

A:計画通り事業が進んでいる。目標が達成された。今後も計画通り事業を進めることが適当 等

B:ほぼ計画通りに進んでいるが目標に達成していない。事業の進め方に改善が必要 等

C:当初の計画を達成できていない。事業規模、内容、実施主体等の見直しが必要 等

D:事業効果が表れていない。事業の統合、休・廃止の検討が必要 等

自己評価(一次評価)	評価会議評価(二次評価)	町長評価(三次評価)
C	C	

今後の展開方向

(Action)

継続／内容の見直し・変更	継続／内容の見直し・変更	
生活排水処理の充実のため、事業の継続は必要であるが、下水道事業の結果を踏まえ事業内容の見直し・変更が必要。	浄化槽整備の考え方について要整理。	

*展開方向の区分

○ 継続／現状維持又は拡充又は縮小又は統合又は内容の見直し・変更 ○ 終了 ○ 休止 ○ 廃止

5 その他特記事項 (アンケート調査など外部評価を受けた場合は、その旨記入)

--